

ピロリ菌除去で胃がんを予防

日本人の胃がんの98%はピロリ菌感染が原因とされています。一方、胃粘膜の萎縮が進行する前の若年期に除菌を行えば、その後の発症リスクが著しく低下することも分かってきています。

しかし、現在の胃がん検診は40歳以上を対象としたエックス線検査が中心で、10代から30代がピロリ菌検査を受ける体制は十分とは言えません。私は、若年層へのピロリ菌検査を公費で行う市町村を県が支援し、取組が全県に広がるよう働きかけています。

神奈川県議会議員

HPへ▶



おのでら

慎一郎
しんいちろう

